

# 令和4年度採用 山梨県公立学校教員選考検査

## 中学校（家庭）問題

「始め」という合図があるまで、このページ以外のところを見てはいけません。

### 注 意

- 1 この問題は6問4ページで、時間は60分です。
- 2 解答用紙は、別紙で配布します。「始め」の合図で始めてください。
- 3 解答は、それぞれの問題の指示に従って解答用紙に記入してください。
- 4 「やめ」の合図があったら、すぐやめて係の指示に従ってください。
- 5 解答用紙を持ち出してはいけません。

1 次の(1)～(3)に答えよ。

- (1) 次は、中学校学習指導要領「第2章 第8節 技術・家庭」の「第1 目標」の一部である。①～③にあてはまることばをそれぞれ記せ。なお、同じ数字には同じことばが入るものとする。

生活の営みに係る( ① )・考え方や技術の( ① )・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し( ② )する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。  
 (2) 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、( ③ )を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。

- (2) 「持続可能な社会の構築」に関連して、次の①～③に答えよ。

- ① 2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標」を英語で表した時の略称を記せ。  
 ② 「持続可能な開発目標」は、西暦何年までの国際社会の共通目標か、記せ。  
 ③ 「持続可能な開発目標」は、ゴールとそのゴールを達成するためのターゲットで構成されている。いくつのゴールか記せ。

- (3) 家庭科の観点別評価の3観点をすべて記せ。

**2** 次の(1)～(5)に答えよ。

(1) 次のア～ケの商品を物資とサービスに分類し、記号で記せ。

ア. クリーニング	イ. 携帯電話機	ウ. 医薬品
エ. 医療	オ. 通信	カ. 衣料品
キ. 食料品	ク. 学習塾	ケ. 書籍

(2) 「非消費支出」とはどのような支出か、具体的な例を挙げて簡潔に記せ。

(3) 「可処分所得」について、「実収入」ということばを用いて簡潔に記せ。

(4) 「消費者基本法」に基づき、国や全国の消費生活センター等と連携して、消費者問題における中核的機関としての役割を果たしている独立行政法人を何というか記せ。

(5) 支払いのキャッシュレス化については、さまざまな利点がある一方、問題も報告されている。どのような問題があるか、3つ記せ。

**3** 右の図は学生服に付けられている表示である。既製のサイズは「日本産業規格」で定められている。次の(1)～(7)に答えよ。

(1) 「日本産業規格」の略称をアルファベットで記せ。

(2) 「170A」の「A」の意味を簡潔に記せ。

(3) ①の使われている繊維の重量割合を百分率で表したものを何というか記せ。

(4) 繊維のそれぞれの性質のよいところを活用するためには、2つ以上の繊維を混ぜて使う。この繊維を混ぜて使う方法に「混紡」と「混織」があるが、その違いを記せ。

(5) ②の下線「—」の意味を記せ。

(6) ③の取扱い表示は、漂白剤に関する表示である。使用できる漂白剤の種類を記せ。

(7) ④のように、○で示された表示は、何に関する取扱い方を示したものか記せ。

\*著作権法により掲載を省略します。

4 次の(1)～(7)に答えよ。

- (1) 次は、中学校学習指導要領解説「技術・家庭編」(家庭分野)の「3 家庭分野の内容 B 衣食住の生活 食生活」の一部である。①～⑥にあてはまることばをそれぞれ記せ。

**材料に適した加熱調理の仕方**については、小学校で学習した(①)、いためる調理に加え、(②)、焼く、(③)等を次の点に重点を置いて扱うこととする。いずれの調理も(④)の調節が大切であることを理解し、加熱器具を適切に操作して魚、肉、(⑤)などを用いた基礎的な(⑥)の調理ができるようにする。

- (2) 動脈硬化や脳卒中、心臓病などの病気を予防するといわれている魚に含まれる脂質を一つ記せ。
- (3) 次の表は、魚介類の旬の時期を春・夏・秋・冬の季節で並べたものである。正しく並べられているものをア～エから一つ選び、記号で記せ。

表

	春	夏	秋	冬
ア	カツオ	タイ	ハマグリ	アユ
イ	サンマ	アユ	サケ	スズキ
ウ	ハマグリ	タラ	カツオ	アジ
エ	アサリ	アジ	サンマ	ブリ

- (4) 生の魚を焼く前に塩をふるのは、味付けの他にどのような理由があるか簡潔に記せ。
- (5) 魚の煮つけをつくる際の、注意点を簡潔に記せ。
- (6) 次の表の①～④にあてはまる食中毒の主な原因食品を、下のア～エからそれぞれ一つずつ選び、記号で記せ。

表

種類	原因となるもの	主な原因食品
細菌性食中毒	カンピロバクター	①
	サルモネラ菌	②
ウイルス性食中毒	ノロウイルス	③
寄生虫による食中毒	アニサキス	④

- ア. 鶏卵, とり肉      イ. 魚(さば, いかなど)  
 ウ. 食肉, 飲料水      エ. かきなどの二枚貝

- (7) 厚生労働省は、家庭での食中毒予防のポイントとして「食中毒予防の3原則」を示している。「食中毒予防の3原則」のうち、食中毒菌を「やっつける」以外の2つを記せ。

**5** 次の(1)～(3)に答えよ。

- (1) 地震に備える建物の対策の一つに、建物と地面の間にある積層ゴムや滑り支承などの装置によって揺れのエネルギーを吸収する構造がある。この構造を何というか記せ。
- (2) 自然災害による被害を予測し、その被害範囲を地図に表したものを何というか記せ。
- (3) 災害への備えの一つである「ローリングストック法」とはどのような備えか、簡潔に記せ。

**6** 次の(1)、(2)に答えよ。

- (1) 経済産業省では、環境と経済が両立した循環型社会の形成をめざし「3R政策」を推進している。この「3R」とは何か、3つすべてをカタカナで記せ。
- (2) 環境共生住宅とはどのような住宅か記せ。